



各務原警察署通信

令和4年8月12日

発行：各務原警察署交通課（058-383-0110）



帰省時等の交通事故防止を！

8月も半ばに差し掛かり、お盆休み等を利用して旅行や帰省を計画している方も多いと思います。

長距離運転の疲れによる不注意事故を起こさないよう、以下のポイントに配慮して安全運転を心掛けてください。

① 余裕を持った運転計画と、休憩場所の確認を

行楽期で通行車両が増加しますので、各地で渋滞の発生が予測されます。運転中の疲れがたまらないよう、事前に「道の駅」などの休憩場所を確認しておき、長距離・長時間運転にならないよう、余裕のある運転計画を立てましょう。



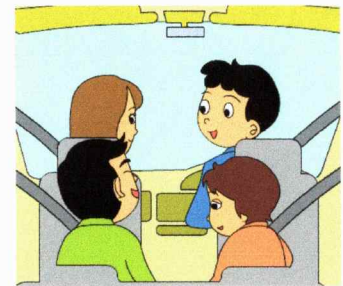
② 疲れをためないように、こまめな休憩を

長時間の運転は疲れがたまり、注意力・集中力が低下して思わぬ事故に繋がります。

こまめに休憩をとって、気分も身体もリフレッシュできるようにしましょう。

③ 同乗者も安全運転のサポートを

同乗者は、運転経路や渋滞等の道路情報を確認したり、運転席から見えない死角を目視で確認するなど、乗車している全員で運転手の安全運転をサポートをしましょう。



④ 夜間帯の運転には細心の注意を

夜間は通行する車両も少なくなって、単調な運転から眠気に襲われやすくなります。

深夜から明け方の運転はできるだけ避けるとともに、少しでも眠気を感じたら道路外の安全な場所に車を停めて、仮眠をとるようにしましょう。

無事故で、楽しい夏休みを過ごしましょう！